




















各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和2年7月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1)  あおり運転厳罰化 違反高齢者に実車試験 改正道交法が成立
- (2)  マイナンバーカード 取得手続き 間に合う？
- (3)  大阪 43 市町村 魅力発信 観光局、海外にも
- (4)  出生率 1.36 4年連続低下 昨年、出生数 90 万人割れ
- (5)  L I X I L、ビバ売却へ 「メーカーに専念」
- (6)  町工場の技伝承へ連携 若手育成 大阪市の 2 社旗振り
- (7)  住宅市場レポート
- (8)  リモートワーク「メリハリ難しい」75% セイコー調査
- (9)  「自粛前より運動増」36% アシックス、12カ国で調査
- (10)  自転車の「あおり」危険行為 改正道交法施行令
- (11)  ペットもステイホーム 新型コロナ ネコ同士で感染
- (12)  卵かけごはん もっとおいしく
- (13)  取っ手触らずドア開ける 甲子化学工業が器具
- (14)  新型コロナ 夏も警戒を 気温・湿度、影響は不透明
- (15)  女性の 8 割「自分は健康」
- (16)  TOTO、BCP見直し
- (17)  エアコン火災事故多発 N I T E 「誤洗浄に注意」
- (18)  「夏もマスク着用」75% 熱中症の予防を
- (19)  若者の睡眠 8 時間に増 20~30 代前半 10 年間で 1 割プラス

(1) あおり運転厳罰化 違反高齢者に実車試験

改正道交法が成立

*改正道路交通法が成立。あおり運転は 6 月末ごろ、高齢運転者対策は 2022 年 6 月までに施行。

☆改正道交法のポイント

- あおり運転
 - ・あおり運転を「妨害運転」と規定
 - ・罰則は 3 年以下の懲役または 50 万円以下の罰金、著しい危険を生じさせる場合は 5 年以下、100 万円以下
 - ・違反 1 回で即運転免許取り消し
- 高齢運転者対策



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- ・一定の違反をした75歳以上の高齢者に運転技能検査（実車試験）を義務化
- ・検査に合格しなければ免許更新不可
- ・安全運転サポート車（サポカー）が条件の限定免許を創設
（2020年6月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(2) マイナンバーカード 取得手続き 間に合う？

ポイント還元率25%、9月開始

- *7月から申し込みが始まる「マイナポイント」。
- *スマートフォンや電子マネー、クレジットカードを使ってチャージや買い物をすると、25%相当のポイントが付き、1ポイント1円で利用できます。
- *1人5000円という上限があります。
- *参加要件はマイナンバーカードの保有。
- *マイナポイントの付与開始は9月。
- *マイナンバーカードの申請⇒受け取り：通常でも1カ月半。今なら2か月待ちも。
- *マイナンバーカードの普及率は16.7%。
- *2021年からは健康保険証としても利用できるようになる予定。
（2020年6月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(3) 大阪43市町村 魅力発信 観光局、海外にも

- *2019年版の観光白書によると、旅行消費に占める外国人の割合は、大阪府が46.2%と全国首位。
- *2位の東京都に続き京都府が3位（29.2%）、奈良県も8位（16.8%）。
（2020年6月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用）

(4) 出生率1.36 4年連続低下



昨年、出生数90万人割れ

- *2019年の人口動態統計で、1人の女性が生涯に産む子供の数にあたる合計特殊出生率は1.36と、前年から0.06ポイントさがりました。
- *4年連続の低下で、2007年以来12年ぶりの低水準。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *社会全体の晩婚化が進んでいることが背景に。
 - *2019年に生まれた子供の数は、過去最少の865,234人。
 - *2019年の死亡者数は1,381,098人と戦後最多を更新。
 - *死亡者数から出生数を引いた自然減は515,864人と過去最大。
- (2020年6月6日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(5) LIXIL、ビバ売却へ 「メーカーに専念」

水回り・建材事業中心に ホームセンター大手がTOB

- *LIXILグループは、53%保有するLIXILビバの株式をすべて手放します。
 - *関東地方を中心に「スーパービバホーム」など約100店舗を展開。
 - *LIXILグループの220年3月期の売上高事業利益率は3.5%。
 - ・流通小売り事業は3.4%で、水回り事業は7.4%。
 - ・売上高は流通小売り事業が10%程度、水回りは約50%。
- (2020年6月9・10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(6) 町工場の技伝承へ連携 若手育成

大阪市の2社旗振り

- *木幡計器製作所（大阪市大正区）と成光精密（同港区）は、人材育成の取り組みを共同で始めます。
 - *大阪地域職業訓練センターがプログラム作りで協力。
 - *参加企業の熟練技術者が講師役。
- (2020年6月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(7) 住宅市場レポート

- ☆住宅展示場来場組数：4月、前年比67.16%（全国）
 - ☆ハウスメーカー受注棟数：13か月連続減。4月、前年比68.9%。
 - ☆プレカット稼働状況：5月稼働率88.0%、前年比93.1%（全国）、関西82%。
 - ☆新設住宅着工：4月、持ち家前年比82.6%、9か月連続減。戸建て分譲91.9%。
- (2020年6月パナソニック住宅市場レポートより抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(8) リモートワーク「メリハリ難しい」75%

セイコー調査

*セイコーホールディングスのリモートワークの現状についてのアンケート調査。

*「仕事とそれ以外のメリハリがつけにくい」「1日中時間に追われている」と答えた割合が7~8割。

*リモートワークする人の44%は、仕事の時間の流れが「速く感じる」と回答。

(2020年6月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(9) 「自粛前より運動増」36%

アシックス、12カ国で調査

*世界12カ国で定期的に運動をしている人のうち、36%が新型コロナウイルスの感染拡大前よりも頻繁に運動。

(2020年6月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(10) 自転車の「あおり」危険行為 改正道交法施行令

14歳以上の違反2回 講習を義務化

*執拗にベルを鳴らすなど自転車のあおり運転を「危険行為」と規定。

*3年以内に2回違反した14歳以上に安全講習を義務化。

*自転車はこれまでに酒酔いや信号無視、遮断機の下りた踏切の立ち入りなど14項目が危険行為に指定されています。

*あおり運転に当たる「妨害運転」を第15項目目に規定。

*自動車やバイク、他の自転車の通行を妨げる目的で、逆走して進路をふさぐ、幅寄せ、進路変更、不必要な急ブレーキ、ベルをしつこく鳴らす、車間距離の不保持、追い越し違反の7項目を想定。

*2019年に全国の警察が摘発した危険行為は26,687件。

(2020年6月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(11) ペットもステイホーム

新型コロナ ネコ同士で感染

一定の距離確保 / イヌはうつりにくく

- *新型コロナウイルスにネコは感染しやすくネコ同士でも感染が広がる一方、イヌは感染しにくいといえます。
- *ネコなどから人間へ感染する可能性は低いとみられます。
- *動物の種類によって新型コロナウイルスへの感染しやすさが異なるのは、動物の細胞が持つたんぱく質の構造が影響。
- *ウイルスが結合しにくい構造を持つ動物は感染しにくいといえます。
- *新型コロナウイルスは人獣共通感染症であるものの、動物から人間への感染が起きるのは極めてまれなようです。
- ※人獣共通感染症：ヒトと脊椎動物の間でうつる感染症。
(2020年6月12日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(12) 卵かけごはん もっとおいしく

かためのご飯 しょうゆ混ぜて

- *卵かけごはんは、卵の安全性が高い日本だからこそ味わえるごちそう。
- *少しかために炊いたご飯を使います。
- ・卵白としょうゆの水分が混ざり合っても、米の食感と味がしっかり残ります。
- *黄金比：ご飯軽く1膳（150g）にしょうゆ7g、Mサイズの卵（60g）の組み合わせ。
- *卵はコレステロールを多く含むことから、かつては「1日1個まで」といわれていました。
- ・その後の研究で、医師から摂取制限するよう言われていない人は、特に気にしなくてもいいとわかったそうです。
- *卵かけごはんにすると、卵が米を覆うため血糖値の上昇が緩やかになり、太りにくくなるメリットも。
- *卵の保管法は、パックごと冷蔵庫にしまうこと。
- ・温度変化が激しいドアポケットには置かないこと。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

おいしい卵かけごはんの作り方

①茶碗軽く1膳分(150g)のご飯に、しょうゆを7gかけて混ぜておく

②切るように混ぜて溶き卵をつくる

③しょうゆを混ぜたご飯の上にかける

④軽く混ぜ、すぐに食べる

●よりおいしくするには・・・薄口のしょうゆを選ぶ 卵はそっと割入れる
(2020年6月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(13) 取っ手触らずドア開ける 甲子化学工業が器具

*プラスチック製品製造の甲子化学工業(大阪市)は新型コロナウイルスの感染防止に向け、取っ手に触れずにドアを開けられる「アームハンドル」を開発し発売。

*プラスチック製の器具をドアノブに取りつけ、腕でドアを開けられます。

*開き戸用2680円(税別)。

(2020年6月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(14) 新型コロナ 夏も警戒を

気温・湿度、影響は不透明

*最初に大量の感染者出た中国では、気温と湿度が高い方が感染が広がりやすいとする報告が目立ちます。

*ほとんどの人が抗体をもたない初期段階では、気象条件に寄らず感染は広がりやすくなります。

*冬に風邪をひきやすいのは寒さで体の抵抗力が落ち、乾燥のため喉の粘膜などがやられるのが一因。

*夏も蒸し暑さで体力を消耗し、さらにエアコンの多用で喉を痛めるなどしてウイルスにかかりやすくなる可能性も。

(2020年6月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(15) 女性の8割「自分は健康」

- *大和ネクスト銀行が3月、20~50代の働く男女500人を対象にした調査。
 - *「自分身体が健康だと思う」と答えた割合は女性84%、男性77%。
 - *「こころが健康だと思う」の回答も女性は76%、男性73%。
 - *健康づくりのために毎月使う金額は女性が平均3549円、男性は3168円。
 - *ストレス発散に使うのは女性6047円、男性5469円。
 - *「健康のために実施していること」は男女とも「睡眠時間の確保」が最多。女性45%、男性32%。
 - ・「外出後の手洗い、うがい」は女性42%、男性23%。
 - *「見直したい生活習慣」は「夜更かし」。女性33%、男性17%。
- (2020年6月22日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(16) TOTO, BCP見直し


拠点国の経済休止想定 取引先を把握

- *TOTOは、新型コロナウイルスの感染拡大で主力製品の生産が滞った反省を踏まえ、BCP（事業継続計画）を見直します。
 - *自社や取引先の生産拠点がある国の経済活動が全面的に休止することを前提に供給網（サプライチェーン）を点検。
 - *現在は1次にとどまる海外取引先の把握も3次取引先まで広げます。
 - *現在のBCPは2011年の東日本大震災を受けて作成されましたが、新型コロナのような大規模な感染症の発生は想定していませんでした。
 - *グローバルで代替調達先の選択肢を増やす考えを示しました。
- (2020年6月25日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(17) エアコン火災事故多発 NITE「誤洗浄に注意」

- *製品評価技術基盤機構（NITE）は、2015年4月～今年3月の5年間に、エアコンの誤った洗浄方法による火災などの事故が263件あったと発表。
 - *洗浄液や消毒用アルコール、次亜塩素酸ナトリウムなどを使った内部の電気部品の清掃は火災の原因に。
 - *メーカーが設定した標準使用期間を過ぎた部品の劣化による火災にも注意を。
- (2020年6月26日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(18)  「夏もマスク着用」75% 熱中症の予防を

*タニタの新型コロナウイルス禍での熱中症に関する意識調査。15~69歳の男女千人対象。

質問	回答	率 (%)
夏もマスクの着用を続けるか	非常にそう思う	26.8
	ややそう思う	48.2
	屋外で人と距離が貯めて る場合でも着用	56.8
適宜マスクを外すことが熱中症 予防のポイントの一つだと知っ ているか	知らなかった	45.8
熱中症を意識するのは？	屋外で運動している時	38.2
	屋外のイベントに参加し ている時	28.0
	意識するときは特にはない	19.5

(2020年6月29日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(19)  若者の睡眠8時間に増 20~30代前半

10年間で1割プラス スマホで「寝落ち」影響か

ビデオリサーチ・電通、調査・分析

*20代~30代前半の若い世代の睡眠時間が、この10年間に1割程度増え約8時間に。

*就寝時刻が早まったため。

*横になってスマートフォンを見ながら眠ってしまう「寝落ち」が影響している可能性。

*20~34歳の男性の睡眠時間は2009年に平均7時間11分でしたが、2019年は7時間55分と10.2%増加。

*同世代の女性も、2009年の7時間19分から2019年の7時間59分へ9.1%増。

*夜11時に既に寝ている人の割合は、20~34歳男性で2009年の18.6%が

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

2019年に34.7%、同女性で2009年の30.0%が2019年に44.9%へと増加。

*起床時刻に大きな変化はありませんでした。

*15~29歳のうち、就寝直前にベッドや布団の中でスマホを使っている人が3分の2。

(2020年6月30日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

